

19 山形市ウォーキングマップ

1 鳥海月山両所宮

ちょうかいがっさんりょうしよぐう
宮町の地名の起りとなり、国家泰平、武門吉事の宮で、古くから「お宮さま」とよばれ、北の総鎮守として敬われてきました。境内には、「藤太の休石」「金井水」といった言い伝えが残されています。



2 鳥海月山両所宮 境内の弁天池

ちょうかいがっさんりょうしよぐう けいだい べんてんいけ
後三年の役の時、ある武将が右目を射られながらも戦い、「お宮さま」まで来て、矢を抜いて池で洗い癒した。それからこの池の鯉はかわりに片目になったという宮町の七不思議の一つの「片目の鯉」伝説があります。



3 史蹟「七ツ石」

しせき ななつし
ある秋、田圃に大きな石が七ツ見つかかり石を掘り出し一ヶ所に片づけて置いたが翌日には元の場所に戻っていた。このようなことが繰り返され、天狗の仕業と諦めた。これが「天狗の七ツ石」という宮町の七不思議の一つとして残されています。



4 北山形駅前の小便小僧

きたやまがたえきまえ しょうべんこぞう
小便小僧は、昭和31年(1956)10月北山形駅改築の完成記念に地元企業が寄贈したものです。昭和32年から小便小僧の衣替えが始まりました。地元のボランティア団体が時と季節の話題にあわせた衣装を提供し、話題を呼んでいます。



宮町・銅町の歴史伝説を訪ねて



公式HP

コース 距離：3,190m 時間：48分
カロリー：144kcal 歩数：4,500歩



宮町は「鳥海月山両所宮」がシンボルになっている町で、その周辺には不思議な伝説が多く残っています。また銅町は山形鑄物の発祥地で、その由来を知ることが出来ます。



8 迎接寺の宝篋印塔と山門の飾り金具

こうしょうじ ほうきょういんとう さんもん かざ かなぐ
境内にある鑄物の宝篋印塔は明治30年(1897年)に建立された鑄物師名工小野田才助等の作です。山門は安政6年(1859)鑄物師名工佐藤金十郎が寄進したもので飾り金具に梅、蟬、朝顔の鑄物が施されています。



7 銅町のモニュメント「鉄瓶」「櫓」

どうまち てつびん やぐら
県道山形天童線の道路両側に、山形鑄物を象徴する「鉄瓶」と鑄物工場のやぐらと鑄物師の姿、情景を表した「櫓(やぐら)」のモニュメントがあります。



6 圓應寺

えんのうじ
延文元年(1356)山形に入部した斯波兼頼の創建と伝えられ、入部した翌年にあたる延文二年(1357)の銘がある板碑があります。また境内には梵鐘、善光寺如来などの歴史あるものが多くあります。



5 慈光寺の扉無し門

じこうでら とびらな
最初は扉をつけて山門を作ったが、一夜のうちに扉がとり払われ、幾度取り付けも無くなるので、これは天狗の仕業と噂され、扉をつけないままになってしまった。これが「慈光寺の扉無し門」という、宮町の七不思議の一つとして残されています。

